



学校だより
令和4年7月20日
(2022年) 第5号
城陽市立城陽中学校
www.kyoto-be.ne.jp/joyou-jhs/cms

-生徒会スローガン-
誰もが愛で包まれる日本一の中学校
~寄り添い、分かち合い、つながる~

1学期終了、39日間の夏休みを有意義に!



1学期も終わり、いよいよ明日から夏休みです。
今学期に前進した部分を確認な成長として意識し、さらに充実した
2学期となるよう、目的意識を持った夏休みにできるようにしてほしいと思います。
また、明日から多くの競技で3年生にとって最後の大会である夏季大会が開催されます。
これまでに積み重ねてきた過程を大切に、できる精一杯の力をぶつけてきてください。
これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、一生懸命頑張りましょう。

中体連夏季大会を観覧の皆さまへのお願い

今年度の城久夏季大会は保護者の観覧可となっておりますが、できる限り少人数での観覧
にご協力いただきますようお願いいたします。

また、大会会場によっては、観覧人数の制限や公共交通機関でのご来場をお願いしている
種目もございます。中体連夏季大会の円滑な運営に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

熱中症予防講座講座

明治国際医療大学の吉田行宏氏に講師として来ていただき、
6/29(水)に1年生を対象とした熱中症予防講座を実施しました。
熱中症について正しく理解し、その予防法や万が一のときの対処法を学びました。今年には記録的な猛暑日が続きますが、今回の講義を活かして自分自身の身体をしっかりと管理できるように変わればと思います。



ケガの予防講座

1年生と同じく吉田氏を講師として、2年生では、ケガの
予防講座を実施しました。講義だけでなく実際に体を動かしながら、
身体の仕組みを理解し、予防に努める上で何が大切なのかを学びました。
睡眠や食事、スマホやゲームの使用時間なども、健康と深く関わっていることなど、
夏休みを前に貴重なお話を聞くことができました。



体育大会・合唱コンクール スローガン決定!

体育大会 令和4年9月29日(木)

力戦奮闘 ~今こそ壊せ! 学年の壁~



合唱コンクール 令和4年10月21日(金)

共・協・響 ~宇宙まで響け、この愛の音色~



赤ブロック
3年3組
2年3組
1年1組

黄ブロック
3年4組
2年2組
1年4組

緑ブロック
3年1組
2年4組
1年3組

青ブロック
3年2組
2年1組
1年2組



夏休み中の主な予定

7月 21日(木) 城久夏季大会、山城水泳大会(男子)
22日(金) 城久夏季大会、山城水泳大会(女子)
23日(土) 城久夏季大会(予備日)、山城大会(柔道)
24日(日) 山城大会(バスケットボール)
25日(月) 山城大会
26日(火) 山城大会、府陸上大会、府水泳大会
27日(水) 府陸上大会、府水泳大会、山城大会(予備日)
28日(木) 諸費再振替日
29日(金) 府大会
30日(土) 府大会
31日(日) 府大会(予備日)



8月 1日(月) 夏季学習会① ※午前部活動停止
2日(火) 夏季学習会② ※終日部活動停止
5日(金) 京都府吹奏楽コンクール
10日(水) 学校閉鎖日、部活動停止(~16日)
18日(木) 諸費振替日
24日(水) 夏季リーダー研修会
29日(月) 2学期始業式、文化系部活動発表会、諸費再振替日
30日(火) 給食開始、発育測定



【学校閉鎖部活動停止期間】8月10日(水)~16日(火)

【2学期平日部活動休養日】8月31日(水)

当たり前の光景に秘められた大きな力

生徒指導部

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と挨拶してくれる光景。

授業開始の2分前、自然に時計を見て、誰にも言われなくても着席する光景。

この1学期の全校を見ていて、当たり前になりつつある光景です。挨拶と時間。何気なく過ごしている日々において、城中生が確かに進化・成長している部分だと思えます。

【挨拶について】

通学路で登校の見守りをしてくださっている地域の方に、こんな言葉をいただきました。「城中の子らは、登校の時、ホンマによく挨拶を返してくれる。声掛けをされていて気持ちいいです。褒めておいてやってください。」

嬉しくて、その場所を通って登校している生徒にさっそく伝えました。

すると、その生徒はきょとんとしているのです。その生徒にとっては、「挨拶をする」ということは当たり前になっている無意識の習慣なので、改めてそうやって地域の方から評価されていることに驚いたそうです。

【時間について】

チャイムが必要な人と、チャイムを必要としない人。その違いは、「時計を見る」ことが習慣化されているかどうかです。この世の中で、「チャイムの音が時間を管理している」場所は学校だけです。（一部、お昼休みを知らせるチャイムが鳴る会社や企業などはありませんが）

着ベルキャンペーンの取組期間などで、チャイムが鳴る前に座ることができていた人にも、2種類あったと思います。①いつも通り時計を見て座る人 ②キャンペーンの声掛けをされて座る人 です。どちらの人も、「着ベルをする」という学校での決まりはクリアできていますが、①と②の間には大きな違いがあることがわかりますね。

①の人は、この先どの場所に行っても、時間を守れる人です。②の人は、周囲の声掛けがない場所では、時間が守れない人です。1学期の全校の様子を見ていて、①の状態の人が大多数となっていることが、城中の“当たり前”のレベルアップにつながっているのだと感じました。非常に良い習慣が身につけているのではないのでしょうか。

挨拶と時間。この2つについての話でしたが、両方に共通している素晴らしい点は、大多数の生徒にとって、これらの行動が“無意識の当たりの光景”となっていることです。

挨拶をすることも時計を見ることも、自然な流れの中で、習慣としてできている状態になっているからこそ、揺らぐことのない確かな力へと変化してきているのです。無意識の状態とは、知らず知らずの間にできるようになっているので、その人にとっては、何も特別なことではないのです。周囲からの声掛けを必要としない自分自身の力が確かに備わった証です。

それが、この先のみなさんの人生を支える大きな力となります。

どんな大きな無意識の力にも、「意識をし始めた最初の頃」があったはずで、1学期の終了という節目で、今学期何を意識して、何を無意識の習慣とすることができていたか、振り返ってみてください。

この先のさまざまな勝負所であな達を支えるのは、「特別な期間の特別な行動」ではなく、毎日の当たり前となっている「普通の行動」の積み重ねであることを忘れないでください。

有意義な夏休みを過ごされることを期待しています。